

平成26年度学校評価について

本校では、年度初めに学校経営目標を基に今年度の重点目標を設定し、その達成に向けて日々の教育活動に取り組んでまいりました。年度の終わりに当たり、職員の自己評価を行いました。その際、先日の保護者アンケート等も参考にさせていただきました。ここでは、概要をお伝えいたします。来年度も具体的な項目を設定し、取り組んでまいります。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

<p>○〔重点目標1〕 基礎的・基本的な学習内容の定着、及び、主体的に学ぶ子どもの育成</p> <p>○〔重点目標2〕 特別活動や道徳教育等を通した、豊かな人間関係づくりができる子どもの育成</p> <p>○〔重点目標3〕 すすんで挨拶をし、決まりを守る子どもの育成</p> <p style="text-align: center;">こつこつ努力、いつも明るく、しっかり学ぶ 元気・本気・やる気の小石の子ども</p>

A・・・目標を十分に達成できた B・・・目標をほぼ達成できた
C・・・あと少しで目標が達成できた D・・・目標達成までいかなかった

	評価項目 (取組の内容、目標達成のための手だて)	成果や次年度に向けての取組など	評価
重点 目標 1 B	学習のめあてを明示し、適切な板書計画を立て、学習のまとめも確実にしている。	・学習のめあてとまとめを子どもたちが意識して学習に取り組めるようになった。	B
	算数タイム・国語タイムや家庭学習等を活用し、学習内容の定着に努めるとともに、読書タイムの活用、図書館利用の奨励を行っている。	・朝の活動の時間の有効活用が図れた。 ・家庭学習の取り組み方についての確認を行う。 ・本の選び方、読書指導の充実を図る。	B
	学級全体や児童一人一人の実態の傾向が分かり、積極的に授業を工夫・改善して「分かった」「できた」と児童が実感できる授業に努めている。	・実態を踏まえた授業の改善に取り組んだり、個別指導を行ったりすることができた。 ・算数や国語の基礎学力を付けるための取組を充実させる。	B
重点 目標 2 B	学級活動(1)・(2)を確実に実施し、児童の自発的・自治的な活動の充実に努め、自分の学級が好きだと言える取組に努めている。	・オンリーワン公開研修会を学習参観と兼ねることができた。 ・「自分の学級が好きだ」と思う子どもが増えている。	A
	道徳の時間の充実を図り、「わたしたちの道徳」や「副読本」を適切に活用して指導をしている。	・副読本をはじめとした、多様な資料を使って指導することができている。	B
	いじめ問題解決のための取組や、特別支援教育推進の取組等を通して、子どもたちが安心して過ごせるような学級づくりに努めている。	・学級活動を学級経営の中核として、よりよい人間関係づくりに努めた。 ・問題事象の早期発見、早期解決に努め、保護者との連携を図る。	B
重点 目標 3 B	児童が自主的にあいさつをするように指導するとともに、教師も率先して範を示すよう努めている。	・児童のあいさつの姿に改善が見られた。 ・家庭や地域でも実践できるよう今後も取り組んでいく。	A
	清掃指導に力を入れ、児童とともに清掃活動を行っている。また、校内の環境、学級掲示等にも気を配りよりよい学習環境になるよう努めている。	・児童の学習や生活に沿った環境整備を心がけた。 ・清掃指導については、日常の指導を徹底していく。	B
	休み時間の外遊びの奨励や、縦割り班活動等、様々な機会をとらえて体を動かす機会を増やし体力の向上を図っている。	・外遊びを楽しむ児童が増えている。 ・年間を通して体力向上の取組を計画、実施していく。	B